

自己の特性を理解し、急速な世界の変化に対応できる生徒の育成 ～ 地域に根差したキャリア学習を通して ～

《 実践研究発表会での公開授業（学級活動） 》

◎テーマ

「360度評価を行い、自己評価能力を高める授業」

◇題材名

「キャリア教育を通じた自己理解・自己受容」

◇本時のねらい

- さまざまなフェーズ(360度)で関わる人たちの多面的な評価を知る。
- 自己評価と360度評価の差異を知り、自己評価を見つめ直す。

◇本時の概要

- 評価表作りを行う。
- 商品販売を実演(3分間×3回)する。
- 自分の評価点と班員が付けた評価点を比較し、理由について話し合う。
- 「自己評価点と360度(他者)評価点の差異から感じたこと」「自分の評価軸や評価点を見つめ直し考えたこと」をまとめる。
- 気付いたことを全体で共有する。
- 本時の授業を今後の自分の生活にどのように生かしたいかをまとめる。

◇子どもの姿



自分視点と他人視点の違いについて理解できた。自分(本人は自分の悪い部分をつい伝えてしまう)と、他人が抱くイメージには違いがあることを再認識することができた。



役割分担(店員役、お客役、上司役)に沿って、模擬商品の販売の実演をした。その後、実演を通じた相互評価について互いに見せ合い、自己評価と他者評価の違いについて実感することができた。

※360度評価：複数の様々な立場の関係者が多面的に人物評価を行う評価。本時は、互いにそれぞれのよさを評価し合う模擬的活動をとおして、自己を見つめる視点について話し合い、自分自身のよさやこれから目指す姿について考えた。

《 学級活動を要としたキャリア教育の実践 》

キャリア教育で育成する能力については、「学校課題を踏まえて設定し、工夫された教育を通じて達成することが望まれる。」とされている。

本校では、一般的に示されている以下の4つの観点を育成したい能力と設定し、様々な教育活動において4つの能力育成に取り組んできた。



○学級活動(3)「キャリア形成と自己実現」

自己の生き方を考え、将来の夢について考える

◇実践の概要

キャリア教育の要として学級活動を位置づけ、様々な形での実践を行ってきた。学級活動や道徳科は、学級担任以外の教員も関わりながら全職員で取り組んできた。



大江先生による講義「自分の夢」を語る

これまで、自分に自信がなく意見を伝えることが難しかったAさん。普段自分から発言することはほとんどなかった。しかし、模擬会社Naiys(次項参照)の活動で自己肯定感が高まり、自信をもつことができた。ここでは、「保育士になりたい」という思いを、友だちに熱く語る姿が見られた。

今日の授業で考えたこと、学んだこと

自分や周りの友達について自分も褒めたいと思った。
 友達も褒めたいと思った。自分も褒めたいと思った。
 他者の意見も聞いてあげたい。世界には色々な人がいる。

課題対応能力

今日の授業で考えたこと、学んだこと

最初自信がなかった。でも、先生に話を聞いてくれたり、
 やりかたを教わったり、社会に認められたいと思うことが分かりました。
 職業だけでなく、普段の生活でも褒められる。聞いてくれる人が大切。
 うことが分かりました。

自己理解・自己管理能力

